

令和6年度指定管理者モニタリング評価調書

施設基本情報

施設名称	北広島市体育施設等	所管部課	経済部スポーツ振興課
指定管理者名	シンコースポーツ北海道株式会社		
指定期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで		
施設設置目的	市民のスポーツ及びレクリエーションの用に供するため		
施設概要	総合体育館：メインアリーナ 1,680㎡、サブアリーナ 559㎡、 武道場 257㎡、トレーニング室 290㎡ 外 緑葉公園：管理棟 152㎡、野球場 19,000㎡ 外		
指定管理者の業務 (利用料金制の適用)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理に関する業務 ・施設の使用許可に関する業務 ・施設の使用料を適用しない ※利用料金制を適用しない		

1 施設利用状況

利用区分等		前年度実績	令和6年度目標 (事業計画書)	令和6年度 利用実績	評価
総合 体育館	個人使用	48,103人	—	56,786人	総合体育館は前年度に比べ大幅に利用者増であり、緑葉公園も前年度に比べ利用者増となっており高く評価できる。利用者を増やす今後の取り組みに期待する。
	団体使用	60,143人	—	67,505人	
	小計	108,246人	—	124,291人	
緑葉 公園	野球場	5,677人	—	6,604人	
	テニスコート	5,192人	—	5,172人	
	多目的広場	683人	—	725人	
	小計	11,552人	—	12,501人	
合計		119,731人	—	137,396人	
(特記事項)					

2 収支の状況

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
事業収支の執行状況	事業計画書のとおり。	事業報告書のとおり。	経費のウエイトが大きい管理的経費の執行に注意を払い、赤字を出さずに運営できたことは評価できる。
適正な経理	経理規程に基づいて適正に現預金の管理を行う。	経理規程に基づき、適切に経理処理を行っている。	適正に経理されている。
経費節減の取り組み	安易な経費縮減によるサービス品質低下が生じないよう、品質を担保した経費縮減を目指す。	業者や金額を精査し、他現場と情報を共有しながら業者選定を行うとともに、外注に頼らず自前修理等を行いコスト低減に努めた。	事業及び施設の管理において自前修理等を行い、経費節減に努めたことが認められ、評価できる。

収支決算額（単位：円）

区 分		前年度 決算	令和6年度 事業計画書	令和6年度 決算
収入 A	指定管理料	70,000,000	70,000,000	72,695,000
	そ の 他	1,890,615	2,330,000	3,763,346
	小 計	71,890,615	72,330,000	76,458,346
支出 B	人 件 費	24,362,714	24,113,000	30,202,051
	事 務 費	3,144,092	1,268,000	2,048,222
	事 業 費	2,727,678	4,807,000	3,517,560
	管 理 費	40,709,088	42,142,000	40,133,309
	そ の 他	0	0	0
	小 計	70,943,572	72,330,000	75,901,142
A－B		947,043	0	557,204
(特記事項)				

3 事業実施状況

区 分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評 価
市指定事業	【継承事業の実施】 市民の各年齢層にわたるスポーツの普及と健康・体力の増進を図るため、スポーツ教室を実施する。	スポーツ協会加盟団体や体育館利用団体へ講師を依頼し、健康増進に加え団体や競技の発展にも繋がるよう教室を実施した。	関係機関と連携し、団体や競技の発展にも繋がるような事業を実施していることは評価できる。
自主事業	「健康づくり」「生きがいくくり」「賑わいくくり」の3つをテーマに市民にスポーツ・運動の魅力を伝え、運動人口の底辺拡大・健康づくりの楽しさを伝えていく。	スポーツ機会の拡充・体育館の認知度向上を目的に幼児から高齢者の定期・単発教室の枠を拡大し実施した。(HIP HOP、げんき体操、スラックライン・筆ペンで書初めなど)	年齢、性別や体力の差に関わらず、市民に新たな運動機会を提供できたことは評価できる。今後も市民のニーズを的確に捉え、事業をさらにブラッシュアップすることに期待したい。

4 施設の維持管理

区 分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評 価
施設設備の管理点検	安心・安全なスポーツ環境を提供するため、各設備器具の目視点検を日常業務の中で確実にを行い、必要に応じた修繕を実施する。	日々の巡回や入替作業時に器具や施設の点検も行い、必要に応じ修繕を実施した。	施設管理は、おおむね事業計画書のとおり実施されており、利用者が安全かつ快適に利用できたことは評価できる。 また、不具合があった際は故障につながるようにはメンテナンスや事前に対策をする等、対処したところは評価できる。 今後も市民が安全に利用できるような管理に期待したい。
清掃業務	市民の快適な環境と美化・衛生を保つため、日常清掃を適正に実施する。また、トレーニング機器の清潔を維持する。	仕様書を定め、専門業者へ再委託し、適切な清掃を実施した。	
防災業務	建築基準法第12条第3項に基づき防火管理者を配置。職員の防災意識の向上と緊急時の適切な対応を行うため通報訓練、消火訓練、避難誘導訓練を1年に2回実施する。	有事の際に適切な対応が出来るよう、スタッフに対し避難誘導等の防災訓練を実施した。	
消防設備管理業務	専門業者に再委託し消防用設備の法廷点検（機能点検を年2回、総合点検を年1回）を実施する。	専門業者へ再委託し、計画通り法定点検を実施した。	
保安警備業務	施設の火災、停電、不審者の侵入、その他異常事態に早期かつ適切に対処し、利用者が安心して利用できるよう、機械警備を行う。	専門業者へ再委託し、定期的に保守点検を実施した。	

外構管理業務	ゴロツケーコースの草刈りは、芝生の生育状況を捉え10日に1回を目途に実施する。花壇の除草は年3回以上、剪定は1回、散水は状況に応じ適宜、冬囲いも適切な時期に実施する。なお、斜面の草刈りなど専門的な業務は専門業者に再委託し、実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・外構管理は、適時草刈り等を実施し、美観の維持や利用に不便の無いよう行った。 ・整備機器の不具合もあるが、オイル交換やグリスアップ・フィルター清掃・刃研ぎを行い、長く使用できるようにメンテナンスを行った。
除雪業務	除雪は降雪10センチ以上を目途に、開館時間の朝9時まで実施する。開館後の降雪についても適宜除雪する。また、駐車場の除雪は専門業者への再委託により、適切に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館の除雪は計画通り実施できた。 ・緑葉公園野球場フェンスは、除雪の効率化と風通りを作るため23枚のフェンスを外し歪みが起きないよう作業を行った。
受水槽清掃業務	受水槽の水質検査を専門業者に再委託し、年1回実施して安全を確認する。	専門業者へ再委託し、安全確認を実施した。
暖房機保守点検業務	暖房及び給湯ボイラーの保守点検について専門業者に再委託し、オーバーホールと中間点検をそれぞれ年1回実施し、ボイラーの良好な状態を保持する。	専門業者へ再委託し、保守点検を実施した。
電気保安業務	施設点検や測定試験の月次点検は専門業者に再委託し、隔月ごとに実施する。また、施設の運転を停止して行う点検及び年次点検は、年に1回実施する。	専門業者へ再委託し、保守点検を実施した。
地下タンク等機密漏洩検査業務	地下燃料タンク・地下埋設配管の気密漏洩検査を専門業者に再委託し、年に1回実施する。	専門業者へ再委託し、保守点検を実施した。
体育器具保守点検業務	体育器具による事故を未然に防ぐため、日常業務点検のほか体育器具の総点検を専門業者に再委託し、年に1回実施する。	専門業者へ再委託し、保守点検を実施した。
吊物装置保守点検業務	吊物装置による事故を未然に防ぐため、日常業務点検のほか吊物装置の総点検を専門業者に再委託し、年に1回実施する。	専門業者へ再委託し、保守点検を実施した。
煤煙測定業務	ボイラーの煤煙濃度について法定の基準内に合致しているか確認するため、専門業者に再委託し、年に1回実施する。	専門業者へ再委託し、保守点検を実施した。
バスケットゴール保守点検業務	移動式バスケットゴールの保守点検を専門業者に再委託して年に1回実施する。	専門業者へ再委託し、保守点検を実施した。
自動ドア保守点検業務	自動ドアに係る事故等を未然に防止するため点検を年2回実施する。	専門業者へ再委託し、保守点検を実施した。
保険の加入	施設賠償責任保険、自動車任意保険の加入。	施設賠償保険、教室傷害保険、自動車任意保険へ加入した。

廃棄物処理	施設から発生する廃棄物の処理は、市の廃棄物処理方法に準じて適切に処理し、また、資源ごみの回収を徹底する。	一般廃棄物は市の処理方法に準じ、専門業者にて回収を実施した。
-------	--	--------------------------------

5 施設の運営

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
利用者対応 (公平性の確保等)	条例・施行規則等の関係法令に基づいた管理運営、利用許可業務を行い、誰もが利用しやすい環境を作るために公平性と平等性を確保します。	受付にて丁寧な説明を行い、公平・平等にルールに則った利用許可業務を行った。	施設の運営体制を十分確立し、施設管理面や受付業務等を含め、事業計画書のとおり行い、大きなトラブルもなく円滑な運営を行っている。また、協議すべき事項が発生した際は速やかに当課へ報告や相談があり、早急な対応が市民満足度向上につながったと考えられる。
意見苦情等に対する対応	利用者の生の声を大切に、その要望を蓄積・共有して迅速な対応をとる。	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室リニューアル後にアンケートを実施し、今後の運営の参考や改善点を確認した。 ・フォームの問い合わせや意見は迅速に対応した。 	
利用者拡大の対応	トレーニング室のリニューアルを実施。有酸素・筋力トレーニング・フリーウェイトとエリアを設け、個々の運動程度に見合うことができるマシーンを導入。	1日のトレーニング利用者が大幅に増加し市内に留まらず市外利用も増えた。SNSの発信による宣伝も行い効果を得ることができた。	
職員体制	正社員4名、アルバイト5名、外注委託で緑葉公園5名と駐車場警備を配置し、その他近隣管理施設よりバックアップ体制も構築。	アルバイトを5名体制とし、円滑なシフト調整を図った。駐車場・緑葉公園は専門業者へ再委託とした。	
職員の指導・育成	誰が対応しても同じサービスを提供できるよう高いサービスレベルでの均一化を目指す。	eラーニングの受講による自己研鑽や他現場スタッフとの意見交換による情報共有を実施した。また、スタッフミーティングを実施した。	
個人情報の保護	個人情報の保護に関する法律等関係法令を遵守し、プライバシーマーク基準に則した個人情報保護・管理体制の水準維持・向上に努める。	全スタッフに個人情報保護教育を実施し、教育受講アンケートも併せて実施した。	
事故・災害発生時の保護	危機管理マニュアルに則り行動し、迅速な情報伝達と混乱のない情報管理を行う。	上記、防災訓練に併せて研修を実施した。	
その他	きたひろ駅伝の運営協力、元気フェスティバルの参加による他団体との関係構築。	きたひろ駅伝の運営スタッフとして人員を派遣。元気フェスティバルでは自主事業の体験と他団体との関係を築いた。	

6 指定管理者の自己評価

区 分		自己評価
1	施設利用状況	トレーニング室のリニューアルによりトレーニング利用が前年度比120%、体育館全体の利用者数も12万人を超え115%と前年度より大きく伸ばすことができた。自主事業の実施においても利用人数増と空き諸室の活用ができた。年々猛暑やゲリラ豪雨はあるが、緑葉公園利用も前年度比108%であった。
2	収支の状況	収支に関して、人員体制を整えるべく1名の社員登用を実施。そのため計画値を超えてしまったが、安定した運営を行うために判断した。全体のコストバランスを考慮した運営を行い、前年度の運営を元に自主事業等の収入を伸ばし、予算内での運営を行っている。
3	事業実施状況	スタッフが講師を担当する健康運動教室や外部に講師を依頼して実施しているフィットネスの定期教室に加え、スラックラインやスノーボード教室の新たな単発教室も実施した。また、1年の抱負や目標を気軽に書初めする企画も実施し、体育館の認知と継続利用のため自主事業を拡大し展開した。SNSの周知のほか、教室の様子を動画にまとめる編集を行いモニターを使用して宣伝も行っている。さまざまな教室を展開することで、運動機会のきっかけづくりや交流の場として寄与できる施設として運営できた。
4	施設の維持管理	経年劣化によるボイラーの不具合や点検での防火設備の不具合が見つかり、スポーツ振興課と協議を行い対応したことで、利用者の安全と快適を守るための管理を実施した。緑葉公園は各委託関係先と整備・管理を行い、冬季も積雪による破損などがないよう管理を行った。
5	施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・要望が多かったトレーニング機器の新規導入とトレーニング室のリニューアルを実施した。 ・運営2年目は他現場とのネットワークも強化し、魅力ある自主事業の展開や施設運営の情報交換と共有を行った。 ・スポーツ振興課と細かな情報共有で安全な施設運営を行った。
6	利用者満足度向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用にあたり複雑なルールなどは丁寧に説明し個人・専用ともにリピーターを増やす対応を行った。 ・利用者ファーストであることを忘れずに人々が関わり合う場として活気がある施設運営のため、利用者とのコミュニケーションの中で把握できる意見の反映やアンケートを実施した。 ・情報発信としてSNS（Instagram）の活用を行い、施設PRを活性化している。また、モニターを活用し運動教室の案内を行う等、周知活動を強化している。

7 総合評価

【当該年度の評価】

総合体育館及び緑葉公園体育施設の運営については、事業計画に基づき、施設の効率的な運営がされている。特に、総合体育館において指定管理者所有の機器導入によるトレーニング機器のリニューアル等により前年度より利用者が大きく増えたことは、利用者に寄り添ったサービスの提供によるものと考えられ、評価できる。

収支、維持管理の面においては、人員体制の変更等の当初計画から変更はあったものの、赤字を出さず運営し、施設の不具合には迅速に対応し、日頃からメンテナンスも行っていったことは評価できる。

昨年度に引き続き、持続的な取り組みや新規事業に加えて、SNSや施設内のモニターを通して活動の様子を周知・宣伝していた。指定管理者には、今後も利用者のニーズを把握し、安全で利用し易く、市民の健康、体力増進をより一層図ることに努めてもらいたい。

全体として、管理運営は良好であると認められる。

【本指定期間当初から当該年度までの評価】

シンコースポーツは令和5年度より本施設の運営を開始し、これまでの運営も引継ぎ、利用者に混乱なく利用できることに注力し、大きなトラブルなく運営を行っている。継承事業に関しては、スポーツ協会加盟団体等へ講師依頼を行い、例年どおり事業実施をお願いする事で、連携した取り組みを行っていた。

また、継承事業に加え、自主事業に関しても、一般利用に影響がない範囲で新たな教室展開を実施し、利用者数は総合体育館では2年連続、緑葉公園も昨年度に比べ増加し、市民のニーズに応えた運営を行っていると言える。